

防災意識を高めましょう

避難情報について

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）では、住民は「**自らの命は自ら守る**」意識を持ち、**自らの判断**で避難行動をとるとの方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなっています。

防災気象情報と警戒レベルについて

多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4（避難指示）や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3（高齢者等避難）に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくてもキキクル（危険度分布）や河川の水位情報等を用いて**自ら避難の判断**をしてください。

どのように行動をとるべきか

住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるように、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されるのでそれに沿って行動しましょう。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

参考【気象庁資料】

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町の対応	警報等	警戒レベルに相当する気象庁等の情報	指定河川洪水予報
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報	※ 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~					
4	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	高潮（特別）警報	氾濫危険情報
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える 可能性が高い注意報	氾濫警戒情報
2	自らの避難行動を確認	第2次防災体制	大雨警報に切り替える 可能性が高い注意報	高潮注意報	氾濫注意報
		第1次防災体制	大雨注意報 洪水注意報		
1	災害への心構えを高める		早期注意情報		

※ 高潮氾濫発生情報…水位周知海岸において都道府県知事から発表される情報。

台風に伴う高潮の潮位上昇は短時間に急激に起こるため、潮位が上昇してから行動しては安全に立退き避難ができないおそれがあります。

水位周知海岸…大阪湾沿岸、播磨沿岸、但馬沿岸、淡路沿岸（東浦、灘、西浦）参考【兵庫県資料】

**市・町長が発令する避難情報等は、皆さんの命を守るための大切な情報です。**

**「自らの命は自ら守る」の意識を持って自らの判断で避難行動をとりましょう。**